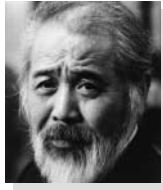




黛まどか



榮久庵憲司

■**第二部…ともいき談義**  
 「モノをつくる、モノをうたう」  
**榮久庵憲司** (インダストリアルデザイナー)  
**黛まどか** (俳人)  
**行正明弘** (浄土宗僧侶)  
**山折哲雄** (国際日本文化研究センター名誉教授) ※コメンテーター  
**高田公理** (佛教学大学教授) ※コーディネーター

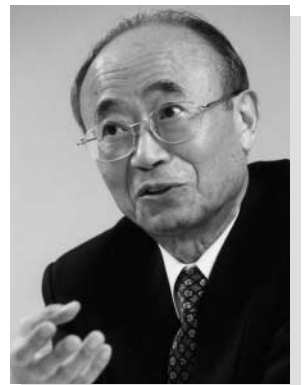
# 法然共生フォーラム

ともいき

いのちを慈しむ知恵

書・紫舟

世界に満ちる様々ないのち  
 モノやコトにも宿るいのち  
 あの世とこの世を結ぶいのち  
 太古から未来へ継がれるいのち  
 そんないのちと共にあること  
 共にある私を確かめること  
 それが「ともいき」です



■**第一部…ともいきがたり** (講演)  
 「モノに宿るいのち」

## 山折哲雄

(国際日本文化研究センター名誉教授)

私たち日本人には、モノにいのちを吹き込みモノを描き、愛でる文化がありました。物の溢れる現代社会から考えるモノとの望ましい共生についてお話戴きます。

今回のテーマ:

## モノとの共生

“モノ”には多様な意味が共生しています  
 それは「物」であり「者」であり  
 「道理」「生命」「霊性」をも意味します  
 モノと共に生きる私たちの古今と未来を考えます

**参加無料**

※参加応募方法を裏面に記載しています

日時：平成21年 **7月22日(水)** **18時30分**より  
 (18時開場/21時15分終了)

会場：**福岡市少年科学文化会館ホール** (福岡市中央区舞鶴)

主催：浄土宗 共催：西日本新聞社 後援：京都新聞社 特別協力：法然上人をたたえる会  
 協力：総本山知恩院(京都) 大本山増上寺(東京) 大本山金戒光明寺(京都) 大本山知恩寺(京都)  
 大本山清浄華院(京都) 大本山善導寺(久留米) 大本山光明寺(鎌倉) 大本山善光寺大本願(長野)

とも いき  
法然共生フォーラム  
～いのちを慈しむ知恵～

こころは乾き、いのちは痩せ細り、社会は、ゆくえの见えない閉塞に覆われています。

いまこそ豊かな想像力を取戻し、あらゆるものに等しく息づく“いのち”を想い、慈しみたい。

世界に満ちる多様な“いのち”、過去から未来へ連なる巨きな“いのち”と共にある・・・それが“ともいき”です。

このフォーラムは、法然上人の教えに流れる“ともいき”精神について考える、

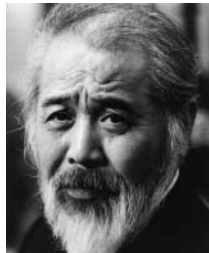
対話と交流の場です。浄土宗が全国各地で開催しています。



### 山折哲雄

(国際日本文化研究センター  
名誉教授)

やまおり てつお  
1931年、米国生まれ、岩手県出身。東北大学文学部インド哲学科卒。春秋社編集部を経て国立歴史民俗博物館教授、京都造形芸術大学大学院長、国際日本文化研究センター所長などを歴任。著書に『物語の始原へ～折口信夫の方法』『日本文明とは何か～バクス・ヤボニカの可能性』『ブッダはなぜ子を捨てたか』『歌』の精神史』『信ずる宗教、感ずる宗教』ほか。



### 榮久庵憲司

(インダストリアルデザイナー)

えくあん けんじ  
1929年、東京生まれ。東京芸術大学美術学部卒。日本の工業デザイン界の草分けにして第一人者。有名な「キッコマン醤油卓上瓶」を皮切りに、鉄道車両、オートバイ、自転車、冷蔵庫、電話器、カメラなどを手がける。現在GKデザイングループ代表、世界デザイン機構会長等を務める。著書に『道具考』『幕の内弁当の美学』『ものと日本人』など。



### 黛まどか

(俳人)

まゆずみ まどか  
神奈川県生まれ。「B面の夏」50句で第40回角川俳句賞奨励賞、『京都の恋』で第2回山本健吉文学賞受賞。スペイン・サンチャゴ巡礼道や韓国・釜山～ソウルを徒歩で踏破。「日本再発見塾」呼びかけ人代表。近刊に『あなたへの一句』『俳句脳』など。メルマガ『週刊まどか歳時記』を毎週日曜朝10時に無料配信中。  
<http://madoka575.co.jp/mm/>  
公式ホームページ  
<http://madoka575.co.jp>



### 行正明弘

(浄土宗僧侶)

ゆきまさ めいこう  
1942年、福岡生まれ。佛教大学卒業。浄土宗福岡教区正覚寺住職。大本山善導寺布教師会参与。福岡教区教化団長。五重相伝推進委員。九州教化センター副センター長。教誨師(福岡刑務所)。近頃布教資料として『浄土宗案内板』『諷誦文集』『日訓カレンダー』作成。地域教化活動としてスポーツ少年団指導(剣道教士七段)。句会主宰(羅漢句会)。



### 高田公理

(佛教学教授)

たかだ まさとし  
1944年、京都市生まれ。京都大学理学部卒業後、シンクタンク主任研究員、武庫川女子大学教授などを経て'08年より現職。学術博士。専門は社会学・文明学・観光学。著書に『にっぽんの知恵』『酒場の社会学』『自動車と人間の百年史』『“流行”の社会学』、編著に『嗜好品の文化人類学』など。

#### ■今回のテーマ「モノとの共生」について

働きに働き、使い物にならなくなった針を、こんにやくや豆腐に刺して「ありがとう」と供養する。工場で作りに励むロボットに、愛称をつけて慈しむ。日本人は、あらゆる存在に“いのち”を感知してきた。

昔、サハラ砂漠の入口に立ったことがある。そこにも生命は存在するはずだ。しかし、それを実感することはできなかった。こんな風土に生きるには、唯一絶対の超越者に帰依するほかないのだろう。

それに比べ、釈迦が悟りを開いた森には、多様な生命が満ち満ちていた。そのすべてが恵みとなって、人の暮らしを豊かに支えてくれる。日本の国土は、そんな森に覆われてきた。あらゆる存在に“いのち”が宿る所以である。

董程な小さき人に生まれたし——日本を代表する文豪の夏目漱石も、だから、こんな挨拶を董に送ったのだ。その董は、百年を超えてなお、自らの「いのち」の価値を現代に生きる、われわれ日本人に開示してくれている。

高田公理(コーディネーター)

日 時:平成21年7月22日(水)  
18時30分～21時15分  
会 場:福岡市少年科学文化会館ホール

#### 次 第

18:30～ 開会挨拶

#### ■第1部:ともいきがたり

山折哲雄

19:20～ <休憩>

19:35～ 浄土宗の活動紹介

#### ■第2部:ともいき談義

榮久庵憲司・黛まどか・行正明弘

山折哲雄・高田公理

## 参加応募方法

参加は無料です。抽選で750名様に参加券を発送します。参加ご希望の方は、はがきに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお送り下さい。はがき1枚で2名様まで申込可能(お名前2名分を記入)。FAXやEメールによる応募も可能です。申込みは**7月1日(水)消印・着信有効**。発表は参加券発送にて替えさせて戴きます。

〒604-8161 京都市中京区饅頭屋町595-3 法然共生フォーラム事務局「福岡」係 ※「福岡」係と必ず明記願います

Eメールアドレス:tomoiki@convention.jp TEL:075-256-8672 FAX:075-256-8673

※参加ご応募に必要な個人情報を第三者に対して開示・提供することは一切ありません。